

第2回第6期芽室町総合計画

審査特別委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和8年8月4日（火曜）				午前9時30分 開会			
	休 憩 9：54-9：56 10：19-10：20							
	午前10時21分 閉会							
会 議 場 所	役場3階本会議場							
出 席 委 員 氏 名	委員長 鈴木 健充			委 員 渡辺洋一郎		委 員 菊池 秀明		
	委 員 西尾 一則			委 員 堀切 忠				
	委 員 常通 直人			委 員 中田智恵子				
	委 員 中村 和宏			委 員 木村 淳彦				
	委 員 早苗 豊			委 員 小笠原 等				
	委 員 立川 美穂			委 員 伊藤 稔				
欠 席 委 員 氏 名	副委員長 正村紀美子							
	委 員 橋本 和仁							
説 明 等 に 出 席 し た 者 の 氏 名	政策推進課長		有澤 勝昭		都市経営課長		橋本 直樹	
	政策調整係長		大石 秀人		都市経営課長補佐		佐藤 史彦	
	農業委員会事務局長		藤野 元成		都市経営係主査		山田 大樹	
	農業委員会事務局次長		土田 雅敏		商工労政課長		西田 昌樹	
事務局職員	総務係長 竹川 恭史			総務係主査 大石真澄				
『会議に付した事件と会議結果など』								
1 開 会								
・委員長が開会を告げ、正村紀美子委員及び橋本和仁委員の欠席を報告し、事務局から本日の委員会の日程を説明する。								
2 議 件								
(1) 審査事項 ア 芽室町第6期総合計画の策定について 資料1、2								
・委員長：資料の説明を求める。								
・政策推進課長：概要を説明								
・政策調整係長：資料を説明								
・委員長：各資料の頁ごとに質疑を行う。								
・目標人口について 資料1								
・委員長：1頁～3頁にかけて質疑はないか。								
・立川委員：第6期総合計画では、人口減少を前提として各施策を進めるのか、それとも人口減少に抗う政策を推進するのか、基本的な方針を伺う。								
・政策推進課長：第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略を基本としており、人口減少に抗う、または諦めるという考えではなく、人口減少社会に「適応」する視点で行政								

を進める考えである。

- ・立川委員：人口減少を踏まえ、住民サービスや公共施設などについて、守るべきものを守りながら集約やスリム化を進める考えを計画全体に反映するのか。
- ・政策推進課長：人口減少や財政状況を踏まえ、事業の見直しや一定のスリム化は必要である。一方で、選択と集中により、取り組むべき施策を進め、守るべきものを守る視点を明確にしたい。また、人口減少への適応から、さらに「進化」へ進む視点も盛り込みたい。
- ・木村委員：町独自の人口推計では、十勝圏からの流入と大都市圏など全国からの流入のどちらを重視しているのか。
- ・政策推進課長：特定の地域からの流入を重視した推計ではなく、全国を含む様々な地域からの移住・定住を促進する考えである。
- ・木村委員：人口推計には、過去の地域別流入データではなく、町の事業全体による効果を反映しているという理解でよいのか。
- ・政策推進課長：そのとおりである。第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策と成果指標を積み上げた推計である。
- ・早苗委員：第5期総合計画の町独自推計は実績を上回っており、従来施策を踏襲するだけでは今回の町独自推計の実現は難しいのではないかと。産業構造を大きく変えるような新たな施策を考えているのか。
- ・政策推進課長：これまで農業、教育、子育て、シティプロモーションなどの施策を積み重ねてきた。第3期総合戦略では、これらの施策が実を結ぶものと見込んでおり、大幅な制度変更ではなく、各分野の取組を着実に進めることで人口減少を緩和する推計としている。
- ・早苗委員：人口ピラミッドの町独自推計と国推計との差は、主に生産年齢人口を増やす施策の効果を見込んだものか。
- ・政策推進課長：そのとおりである。シティプロモーションや教育施策などの効果により、生産年齢人口の増加を見込んでいる。
- ・西尾委員：他自治体では外国人住民の増加が人口減少の緩和につながっている。芽室町では、今後、外国人住民の受入れや共生をどのように進めるのか。
- ・政策推進課長：積極的な受入れ策というより、人口減少社会において外国人住民の力も借りながら地域をつくるという考えである。そのため、多文化共生社会の基盤づくりを進める。
- ・委員長：4頁について質疑はないか。
- ・(なし)
- ・委員長：5頁及び6頁について質疑はないか。
- ・菊池委員：2034年の目標人口1万6,200人は、国の推計を227人上回る。この差について、出生数の増加、転入者の増加、転出の抑制など、自然増減と社会増減の内訳をどのように想定しているのか。
- ・政策調整係長：合計特殊出生率1.22と、移住・定住などの政策効果を反映した数値

である。ただし、出生数や転入・転出数を年度ごとに細かく積み上げたものではなく、過去の推移を基に出生率と政策効果を加味した推計である

- ・菊池委員：農業、商工業、教育、子育て、シティプロモーションなどの主要施策について、どのような成果指標を設定し、人口への効果を検証するのか。
- ・政策推進課長：第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の各重点項目に設定した KPI に基づき検証する。これらの KPI を達成することで、政策効果として5年間で約100人、年間約20人の人口増加を見込んでおり、第6期総合計画でもこの考えを踏襲する。
- ・立川委員：若年女性の流出抑制や、若い世代から選ばれるまちづくりは人口維持に重要である。ジェンダー平等や多様な人材が活躍できるまちという考えを明記すべきではないか。
- ・政策推進課長：ジェンダー平等などは実施計画の中で示す予定であるが、目標人口の記述は大きな分野ごとの表記としているため、個別施策の記載は考えていない。「選ばれるまち」などの表現は、今後提示するまちづくりの基本目標などに盛り込むことを検討する

・土地利用について 資料 2

- ・委員長：1頁の土地利用基本構想図について質疑はないか。
- ・(なし)
- ・委員長：次に2頁の将来の都市像（案）について質疑はないか。
- ・木村委員：西大成地区についても、用途を含めた今後の土地利用を将来の都市像として検討するのか。
- ・都市経営課長：西大成地区は、将来の都市像に含まれており、都市計画マスタープランでも土地利用の有効活用ゾーンとしているため、引き続き検討する。
- ・木村委員：西大成地区について、地域の意向を踏まえながら、第6期総合計画の中で適切な用途や都市像を位置づける考えか。
- ・都市経営課長：現在は市街化調整区域で用途地域が定められていない。都市計画マスタープランに基づき、地域の意向を踏まえ、必要に応じて適切な土地利用を検討する。第5期総合計画から引き続き検討していく。
- ・常通委員：第5期総合計画から除外した区域は、具体的にどの部分か。
- ・政策調整係長：西19号と南2線・白樺通が交差する付近の区域である。森林の傾斜地であり、今後の開発が難しいと判断したため、将来の都市像から除外したものである。
- ・委員長：全体をとおして質疑はないか。
- ・常通委員：総合計画の目指すべき将来像は、いつ、どのように協議するのか。また、将来像を先に定めて各施策を組み立てるのか、施策の積み上げによって将来像を定めるのか。
- ・政策推進課長：本来は目指すべき将来像を掲げ、その下に人口推計や土地利用、各施策を位置づける考えである。ただし、今回はまず人口や土地利用など大きく変えに

くい前提条件を示した上で、現在、町長と将来像や各施策について協議を進めている。

- ・常通委員：目指すべき将来像は、第5期総合計画から変更する可能性があるのか、それとも継続する考えか。
- ・政策推進課長：現時点では変更の有無を明言できない。今後、町長との協議を経て最終的に整理する。
- ・委員長：審査事項「第6期芽室町総合計画の策定について」の自由討議を行う。意見はないか。
- ・（意見なし）
- ・委員長：意見はないものと認め、自由討議を終了する。

(3) その他

(1) 次回の委員会開催日程について
正副委員長に一任

(2) その他

- ・委員長：その他で各委員からないか。
- ・（なし）
- ・委員長：議長からないか。
- ・（なし）
- ・委員長：事務局からないか。
- ・（なし）

以上をもって委員会を閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	議員	0名	合計	1名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和8年8月4日

第6期芽室町総合計画審査特別委員会

委員長 鈴木 健 充

議 長	副議長	局 長	係 長	主 査	作成者氏名 大 石 真 澄